

つなげよう、 支えよう 森里川海

セブン-イレブン記念財団は、
このプロジェクトに賛同しています

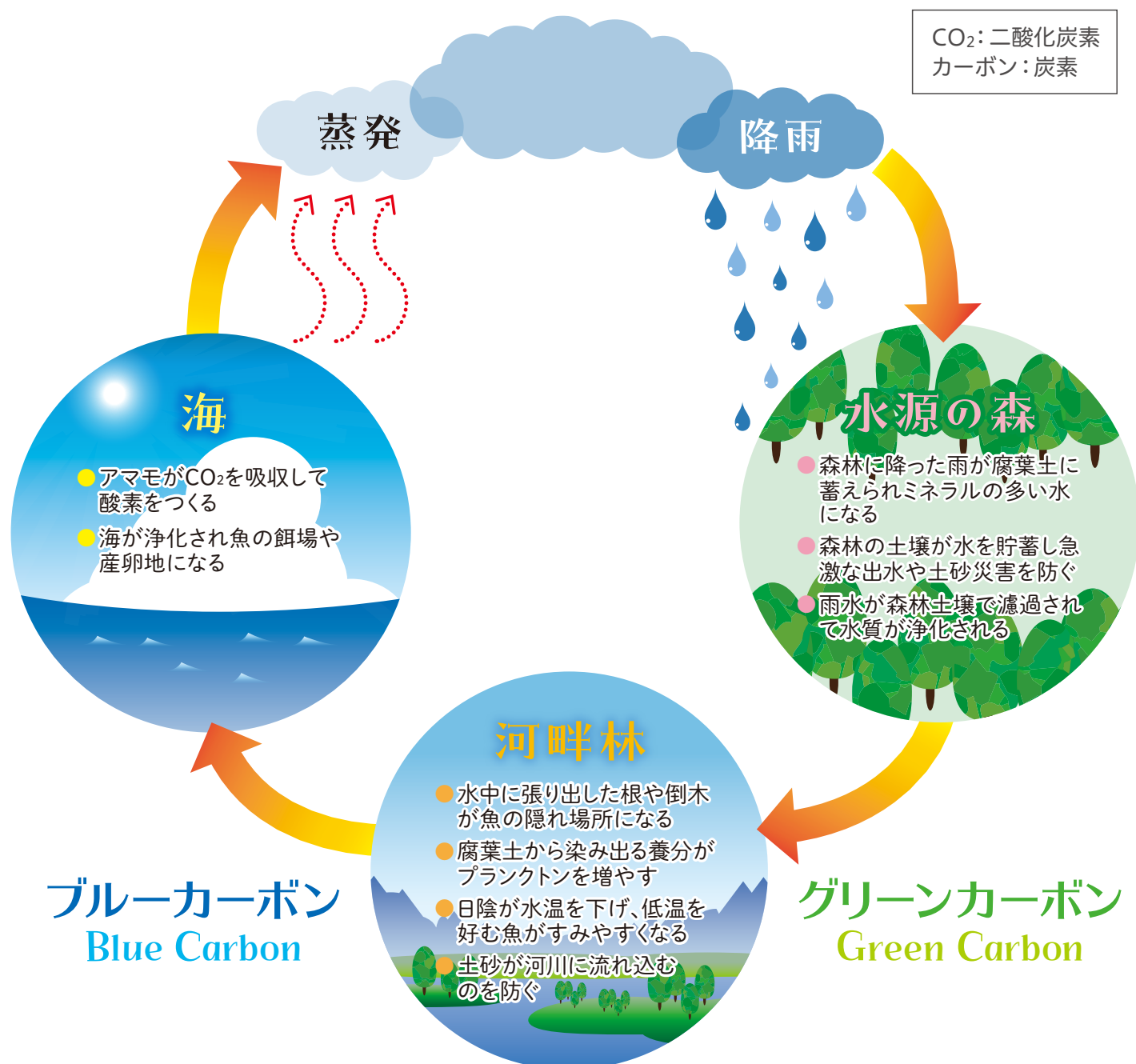
自然環境保護・保全事業

日本の美しい自然を 次世代に引き継ぐために

日本の四季折々の美しい自然や貴重な生態系を次世代に引き継ぐために、さまざまな団体と協力して保護・保全活動を推進するとともに、自然学校を運営しています。

森林の保護・保全活動「山の森づくり。海の森づくり。」

「山の森」と「海の森」の二つの視点から「CO₂削減」と「豊かな自然環境の再生」を進めています。



森の育木活動で健全な森づくり

日本は木を植えて木を育て、木を切って使い、また植えるという木を循環させる文化を持っています。木が育つには何十年もかかり、その間の植樹や下刈り、間伐などの育木を人が計画的に行って森を守ってきました。

セブン-イレブン記念財団の「森づくり」の基本的な考え方は、植樹から下刈り・間伐までの森の育木活動を行い、健全な森をつくることです。



「埼玉セブンの森」幼木の移植



「三重セブンの森」山道づくり

「宮城セブンの森」の間伐材を利用した木製募金箱

2012年より震災復興支援として、豊かな森をつくるために宮城県大崎市鳴子温泉玉ノ木にてNPO法人しんりんと協定を締結し、「宮城セブンの森」づくりを行っています。



「宮城セブンの森」ツル植物の除去

2014年から間伐材を利用した木製募金箱を店頭に設置し、木材を循環させていくことで森林保全と地球温暖化防止につなげています。



募金箱は宮城県大崎市の障害者就労支援事業所で組み立てています



アマモを増やして海を再生

「海の森づくり」として、水質浄化やCO₂を減らすアマモを増やして豊かな海に再生する活動に取り組んでいます。「ブルーカーボン」は地球上の生物が固定化する全炭素量の55%を占めており、温室効果ガス削減の切り札ともいわれています。

アマモを増やして豊かな海に再生する活動は、地域の方々と共にセブン-イレブン加盟店や本部社員からボランティアを募り実施しています。

現在、アマモ場の保全活動の先駆けとなった



アマモの種

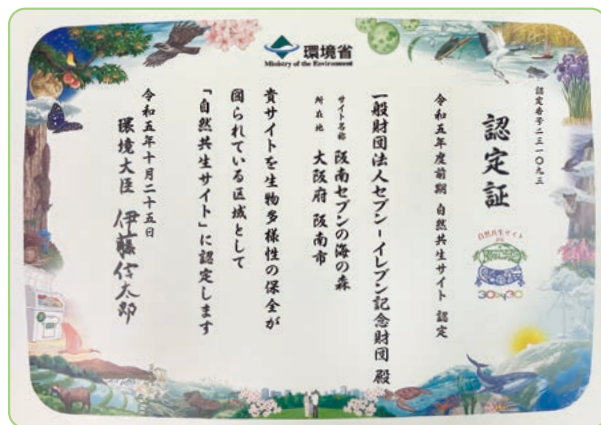


「青森セブンの海の森」浅場海中清掃

「東京湾UMIプロジェクト」をはじめ、大阪湾で阪南セブンの海の森、松島湾で塩竈セブンの海の森、館山湾で館山セブンの海の森、陸奥湾で青森セブンの海の森の5カ所で活動しています。

「阪南セブンの海の森」環境省が取り組む自然共生サイトに認定

『阪南セブンの海の森』は、アマモ場の保護保全活動と沿岸清掃活動を実施しており、「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」であるとして、この度セブン-イレブン記念財団は、2023年10月25日（水）に開催された「自然共生サイト認定証授与式」において、環境省より『阪南セブンの海の森』を「自然共生サイト」として認定いただきました。



表彰状



「阪南セブンの海の森」づくり集合写真



「奈良セブンの森」事業にかかわる連携に関する協定の締結

2023年6月29日（木）、（一社）大和森林管理協会、上牧町、王寺町、近畿大学農学部、セブン-イレブン記念財団の五者で、「奈良セブンの森」整備・保全に関する協定を締結しました。



「奈良セブンの森」協定締結式

【協定の目的】

森林において整備・保全活動を実施することにより、森林環境の保全に貢献するとともに地域社会の交流を実現することにより地域の発展に寄与する

【活動場所】

奈良県北葛城郡王寺町畠田
奈良県北葛城郡上牧町下牧 他 3.93ha

【協定期間】

2023年7月1日～2032年3月31日

日本の美しい自然遺産を次世代へ

霧多布湿原保全活動 ～霧多布セブンの森～

豊かな生態系を抱く霧多布湿原を次世代に引き継ぐために、「小さな力が集まって、大切な自然遺産を残していく」ナショナルトラスト運動を推進しています。

北海道浜中町の認定NPO法人霧多布湿原ナショナルトラストとパートナーシップ協定を結び、2002年より霧多布湿原の民有地などを取得し保全しています。

2018年より「霧多布セブンの森」も始動しました。



霧多布湿原は、ラムサール条約登録湿地

取得面積 **488.7ha** (2024年2月末日現在)

琵琶湖保全活動 ～滋賀セブンの森～

琵琶湖を取り巻く環境を健全な姿で引き継ぐため、2019年に滋賀県、守山市、淡海を守る釣り人の会、セブン-イレブン記念財団の四者で連携協定を

締結し、「滋賀セブンの森」活動として湖岸清掃や小さな自然再生を実施しています。

年2回の活動には、行政、企業、学生、市民と産官学民が一体となり、湖岸に漂着したゴミの収集、分別作業を力を合わせて行っています。



「滋賀セブンの森」ゴミの分別活動



「滋賀セブンの森」湖岸清掃活動

富士山保全活動

セブン-イレブン記念財団は1994年より富士山の環境美化保全活動への取り組みを開始しました。1998年より、セブン-イレブン加盟店と(株)セブン-イレブン・ジャパン社員などを対象に「セブン-イレブン記念財団富士山保全活動」を主催し、2022年度から静岡県及び認定NPO富士山クラブと協働で「6R県民運動」として静岡県内の海岸清掃活動を行っています。



富士山海岸清掃



集合写真

「セブンの森」づくり一覧（全30カ所、うち終了11カ所）

2024年2月末日現在

「セブンの森」は下刈りや植樹を行い、10年後・20年後に地域の自然環境やニーズに合わせた森にする、というような地域に親しまれ、愛され、次世代に繋げる地域一体型の森づくりを目指してい

ます。2018年度からは国有林・公有林に私有林も加え、地域住民やNPO、行政と連携し、気軽に参加して自然体験や地域交流ができる森づくりを行っています。

都道府県	名 称	場 所	開始年	面 積	活動分野
北海道	支笏湖セブンの森	千歳市	2006年～2021年終了	16.3ha	森林
北海道	千歳セブンの森	千歳市幌加	2009年～2014年終了	1.2ha	森林
北海道	えりも岬セブンの森	幌泉郡えりも町	2013年～2023年更新	4.7ha	森林
北海道	霧多布セブンの森	厚岸郡浜中町	2018年～	488.7ha	湿原
青森県	青森セブンの海の森	青森市	2021年～	—	海
宮城県	宮城セブンの森	大崎市鳴子温泉玉ノ木	2013年～	300.0ha	森林
宮城県	仙台湾セブンの森	名取市下増田台	2014年～2019年終了	1.0ha	森林
宮城県	東松島セブンの森	東松島市浜市	2016年～2021年終了	1.0ha	森林
宮城県	塩竈セブンの海の森	塩竈市	2020年～	—	海
福島県	相馬セブンの森	相馬市磯部大洲	2016年～2021年終了	0.3ha	森林
茨城県	茨城セブンの森	水戸市見川町桜川緑地	2018年～	6.0ha	河畔林
栃木県	栃木セブンの森	矢板市長井	2013年～2018年終了	2.0ha	森林
埼玉県	埼玉セブンの森	太郎右衛門自然再生地	2022年～	—	河畔林
千葉県	千葉セブンの森	富津市	2012年～2016年終了	2.5ha	森林
千葉県	館山セブンの海の森	館山市沖ノ島	2021年～	—	海
東京都	高尾セブンの森	八王子市川町	2014年～	26.5ha	森林
福井県	福井セブンの森	福井市小羽町「清水きららの森～おばやま自然公園～」	2017年～	2.6ha	森林
山梨県	山梨セブンの森	笛吹市石和町	2020年～	20.6ha	森林
長野県	長野セブンの森 I	埴科郡坂城町	2012年～2016年終了	250.0ha	森林
長野県	長野セブンの森 II	上水内郡信濃町「やすらぎの森」	2017年～	15.9ha	森林
三重県	三重セブンの森	津市美里町	2014年～2019年終了 2020年更新	1.2ha→8.8ha	森林
滋賀県	滋賀セブンの森	守山市今浜町 第2なぎさ公園	2019年～	—	湖
大阪府	大阪セブンの森	能勢郡能勢町「歌垣山」	2013年～2018年終了	3.7ha	森林
大阪府	阪南セブンの海の森	阪南市西鳥取漁港西海岸	2018年～	—	海
奈良県	奈良セブンの森	北葛城郡王寺町、北葛城郡上牧町	2023年7月～	3.93ha	森林
広島県	広島セブンの森	東広島市八本松町	2013年～2021年更新	3.6ha→15ha	森林
福岡県	福岡セブンの森	福岡市早良区曲淵	2015年～2020年終了	1.8ha	森林
佐賀県	佐賀セブンの森	三養基郡基山町	2014年～	4.7ha	竹林
宮崎県	宮崎セブンの森	日南市北郷町	2013年～2020年終了	3.0ha	森林
大分県	大分セブンの森	玖珠郡九重町	2021年～	600ha	草原

面積合計 1780.2ha

「セブンの森」づくり累計活動結果

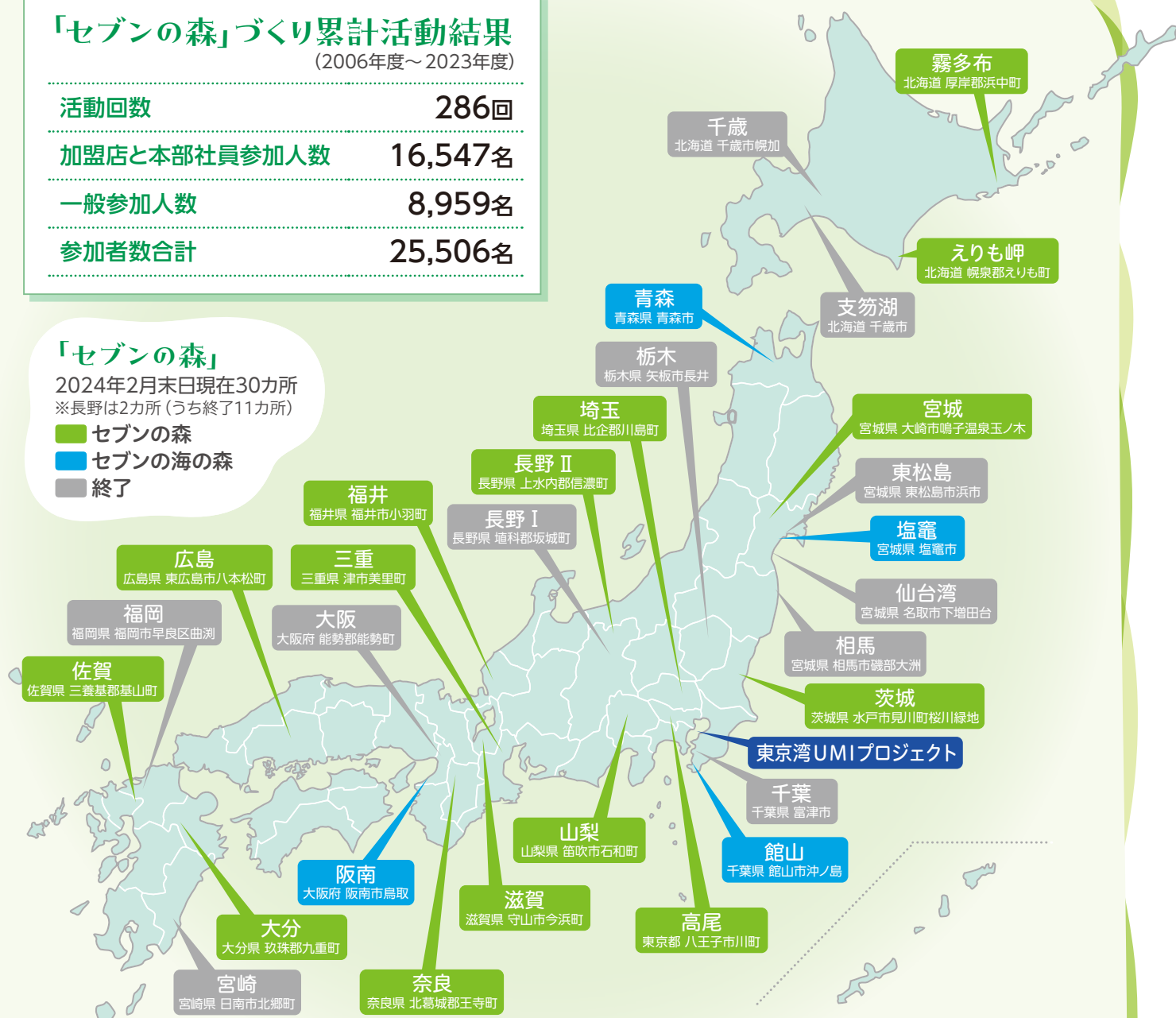
(2006年度～2023年度)

活動回数	286回
加盟店と本部社員参加人数	16,547名
一般参加人数	8,959名
参加者数合計	25,506名

「セブンの森」

2024年2月末日現在30カ所
※長野は2カ所（うち終了11カ所）

- セブンの森
- セブンの海の森
- 終了



トピックス TOPICS

「森・里・川・海と人と人をつなぐ 脱炭素・生物多様性フォーラム」開催

2024年2月15日(木)、セブン-イレブン記念財団は、設立30周年事業を記念して「森・里・川・海と人と人をつなぐ脱炭素・生物多様性フォーラム」を開催しました。

今回のフォーラムは、森・里・川・海にて環境活動を続けてこられた皆様を繋ぐことを目的として、東京の会場とリモートのハイブリット形式にて開催、渋沢寿一氏による「人は

自然の一部である」をテーマにした基調講演や“セブンの森・セブンの海の森づくり”で活動する4つの団体代表者から、活動内容とその魅力などについて発表いただきました。

その後は、会場とリモートで集まった参加者168名の皆様と、自然と人との結びつきについて活発な質問や意見交換が行われました。

自然学校

「人と自然、自然環境と地域社会の共存・共栄を自然から学ぶ」を基本理念に、大分県玖珠郡九重町と東京都八王子市川町で自然学校を運営しています。



スタッフ集合写真



体験プログラム「くじゅうの生きもの観察会」



大分セブンの森「防火帯づくり」
史上最多94名の皆さんが集結

くじゅう 九重ふるさと自然学校

九重ふるさと自然学校は、2007年に開校し、ラムサール条約に登録された「くじゅう坊ガツル・タデ原湿原」をはじめとする草原環境の保全や草原性チョウの保全活動、さらにお米も生きものも育む自然共生型の田んぼづくりや地域に根付く伝統野菜の普及・啓発を通して、人と自然が共生する里地里山の保護・保全活動に取り組んでいます。

「大分セブンの森」では、飯田高原一帯の環境を守ろうと、2021年より草原および森林において活動を行っています。2023年度は飯田高原で問題になっている特定外来生物オオハングソウの駆除、さらに草原維持のための野焼きを安全に行うために欠かせない防火帯の整備を延べ128名の方と共に行いました。

ふるさとを愛する心を育む

九重町の教育機関や地域団体と連携し、地域の子どもたちに向けた環境教育を行っています。ラムサール条約登録湿地であるくじゅう坊ガツル・



チームタデ原「キッズガイド」

タデ原湿原を深く学び、他の湿地との交流を行う「チームタデ原」（くじゅう地区管理運営協議会）、自然に育まれた暮らしの中

の文化を学ぶ「飯田高原お宝探検隊」（飯田地区青少年健全育成協議会）、筑後川の源流域（九重町）

から有明海まで自然と暮らしを体験する「ふるさと探検クラブ」（九重町教育委員会との共催）など。これらの活動を通し、子どもたちのふるさとを愛する心の育成に取り組んでいます。



お宝探検隊「伝統行事もぐらうち」

体験プログラムを通して環境を学ぼう！

週末には、森の中を散策しながらの生きものの観察や、自然素材を使ったクラフトワークショップ、循環型農業を体験できる畑



クリスマスリースづくり

のボランティア活動を実施しています。

また「森の音楽祭」といった

生きもの以外にも環境教育にアプローチをする体験プログラムや、森林浴といったリラクゼーションを目的とした大人向けの体験プログラムにも取り組み、多くの方に様々な環境体験学習を提供しています。



ジュニアボランティア

高尾の森自然学校

「高尾の森自然学校」は、東京都が初めて民間団体と拠点施設を構えて取り組む協働事業です。2015年4月に開校し、東京都八王子市川町の約26.5haの都所有の森をフィールドに、貴重な森林を守り、育むことにより脱炭素社会の実現に寄与します。また東京都レッドリストに掲載されている貴重な動植物の保護・保全活動を通して、生物多様性の重要性を体験し学ぶとともに、地域の自然、歴史、文化などを次世代に継承していく人材を育てます。

「高尾セブンの森」は、高尾の森自然学校が開校する前の2014年8月から地元の方と共に、東京都八王子市川町の豊かな自然が残る森を保全する活動を実施してきました。また月2回実施している森林整備活動「森のお手入れボランティア」は2023年1月末までに、計148回実施し、延べ1,459名の方と共に森林整備を行い、森を整備するだけでなく、森づくりの必要性についての講習なども行っています。



スタッフ集合写真



体験プログラム「フォレストウォーク」



高尾セブンの森 伐倒作業

「国立公園の環境保全活動に関する協力協定書」を締結

2023年4月7日(金)、一般財団法人セブン・イレブン記念財団は、環境省自然環境局および地域の活動団体とともに『国立公園の環境保全活動に関する協力協定書』を締結いたしました。



(左) 環境省自然環境局 奥田直久局長、
(右) 一般財団法人セブン・イレブン記念財団
山本憲司理事長 ※協定締結時点

【協定の経緯】

セブン・イレブン記念財団は2023年11月に設立から30周年を迎えるとともに、国立公園は最初の指定から2024年で90周年を迎えます。これを機に、両者は国立公園における環境保全活動の推進を図り、自然の風景地の保護及び生物多様性の確

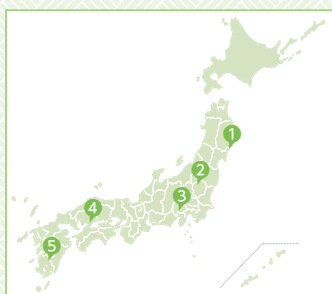
保に向けた取り組みの促進、並びに保護と利用の好循環による地域社会の持続的な発展に寄与することを目的に、相互に協力してこれらの取り組みを促進し更なる取り組みの深化や発信等を行うことに合意し、協力協定を締結いたしました。

【協定の概要】

- 協力内容**
- ◆ 協働で実施する環境保全活動に関する事項
 - ◆ 環境市民活動助成に関する事項
 - ◆ 環境保全活動への参加の呼びかけに関する事項
 - ◆ その他本協定の目的に資する事項



日光国立公園
特定外来生物オオハンゴンソウの
駆除活動 集合写真



【活動内容】 ※今後5つの国立公園から環境保全活動を開始、順次拡大していく予定です。

- ① 三陸復興国立公園 (沿線の美化清掃やトレイル整備を実施)
- ② 日光国立公園 (景観の保全のため、外来種対策や里山管理を実施)
- ③ 富士箱根伊豆国立公園 (植物の保全のため、防鹿柵の設置・点検を実施)
- ④ 瀬戸内海国立公園 (登山道の維持管理等を実施)
- ⑤ 霧島錦江湾国立公園 (干潟の保全・再生を協働で実施)

トピックス TOPICS

「第1回 全国海の再生・ブルーインフラ賞」にて 審査委員会特別賞を受賞!

セブン・イレブン記念財団は、一般財団法人みなと総合研究財団が主催する「第1回全国海の再生・ブルーインフラ賞」において、「審査委員会特別賞」を受賞しました。

「全国海の再生・ブルーインフラ賞」は、我が国の海辺空間の環境再生のほか、ブルーインフラ(藻場、干潟等及び生物共生型港湾構造物)の保全・再生・創出に取り組み、海辺の環境改善、地域社会の活性化、カーボンニュートラル等に貢献する取組を表彰するものです。

◆ **取組名**
「日本の自然を次世代に
引き継ぐために」

◆ **取組内容**
「セブンの森・セブンの海の森づくり」において、地域住民やNPO、行政と連携し、地域に親しまれ、愛され、次世代に繋げる地域一体型の森づくりを継続し、脱炭素社会の実現と生物多様性の保全に貢献できように取り組んでいる。(海の森づくりエリア: 青森市、塩竈市、館山市、東京湾、阪南市)

